

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b> 一般国道14号 <small>かめいどこまつがわ</small> 亀戸小松川立体	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 関東地方整備局										
<b>起終点</b> <small>こうとうくかめいど</small> 東京都江東区亀戸9丁目地先 <small>えどがわくおおすぎ</small> 東京都江戸川区大杉1丁目地先				<b>延長</b>  2.5 km										
<b>事業概要</b> 一般国道14号は、東京都中央区から千葉県千葉市中央区に至る延長64.2kmの主要幹線道路である。当該区間は、荒川を渡る橋梁が限られていることなどから慢性的な渋滞が発生しており、さらに近隣の市街地再開発事業区域からの流入交通による渋滞を緩和するために延長2.5kmの6車線拡幅（将来立体化）を計画したものである。														
S60年度事業化		S21年度都市計画決定 (H3年度変更)		S62年度用地着手										
H11年度工事着手														
<b>全体事業費</b>		340億円	<b>事業進捗率</b>	30%										
<b>計画交通量</b>		55,000~65,000台/日												
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体)	1.6		<b>基準年</b> 平成16年										
	(残事業)	2.8												
<b>総費用</b> (残事業/事業全体)		176/304億円		<b>総便益</b> (残事業/事業全体)										
(改築費：166/294億円) (維持管理費：10/10億円)		(走行時間短縮便益：434/434億円) (走行費用減少便益：41/41億円) (交通事故減少便益：16/16億円)												
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度20km/h未満である区間の改善が見込まれる） ・生活環境の改善、保全（自動車からの排出ガス削減が期待される） 他5項目に該当														
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 平成7年7月 江戸川区長より建設推進要望														
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 並行して進められている亀戸・大島・小松川地区市街地再開発事業が進捗し、亀戸地区の交通渋滞が深刻化してきている。														
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 亀戸地区は、平成18年度に平面6車線化にて供用する見込みであり、小松川地区については、今後さらに用地買収を促進し、平成22年度の平面6車線化を目指している。														
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 亀戸地区については、東京都の再開発事業の遅れに伴い事業が遅延しており、東小松川地区については、亀戸地区に引き続き6車線化を進めることとしている。														
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 橋梁施工において、構造物のプレキャスト化による工期短縮、新技術の積極的な活用、埋め戻しには現場発生土を用いるなどコスト縮減に努める。														
<b>対応方針</b>		事業継続												
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。														
<b>事業概要図</b>														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>凡</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■■■■■</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>■■■■■</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td>▨▨▨▨▨</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td>▨▨▨▨▨</td> <td>うち供用中</td> </tr> </tbody> </table>			凡	例	■■■■■	供用中	■■■■■	事業中	▨▨▨▨▨	再評価箇所	▨▨▨▨▨	うち供用中
凡	例													
■■■■■	供用中													
■■■■■	事業中													
▨▨▨▨▨	再評価箇所													
▨▨▨▨▨	うち供用中													

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。